

地域医療研究・教育センター News Letter No.13 Wind 2023.11.22

地域医療研究・教育センター (7736)

臨床研修センター (7793)

スキルラボ部門 (8351)

地域医療支援部門 (7938・7957)

看護職キャリア支援部門 (8751)

男女協働キャリア支援部門 (8351)

看護師の特定行為研修部門 (8351)

E-mail: c-center@ml.gunma-u.ac.jp

バックナンバーは「GUNMAS」および当センターHP (<https://mec.dept.showa.gunma-u.ac.jp/>) に掲載しています

地域医療研究・教育センター 副センター長あいさつ



池田佳生副センター長

昨年度に引き続き、地域医療研究・教育センター副センター長および臨床研修センター長を担当させていただいています。本センターは群馬の地域医療を支える医療人のキャリア支援やネットワークの構築を推進するため、群馬県（行政）や県内の多くの医療機関と密接な連携をとりながら活動を行っております。また、当センターを利用いただいている方々は医師、歯科医師、看護師、他の様々な医療職種など多岐にわたり、個々に応じたきめ細やかな対応を心がけております。また各種の教育セミナーの開催や、学生に対しても実地で地域医療を学ぶ機会を提供しています。特に当センターの特色として、多くの診療科で利用可能なシミュレーターを完備したスキルラボセンターや、医師ワークライフ支援プログラムなど多様なニーズに対応し、優れた医療人の育成へ貢献することを目指しています。さらに令和4年度からは文部科学省より選定された、埼玉・群馬の健康と医療を支える未来医療人の育成プロジェクトが開始されました。このような地域医療の発展に多面的・総合的に関与する部署の運営はセンター所属の多くの職員の弛まぬ努力と、院内の各部署の皆様のご協力により成り立っています。微力ながら、使命を全うできるよう努力して参りますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

各部門の活動報告

臨床研修部門

4年ぶりの会場開催！ 研修医症例発表会

10月12日（木）に、第12回群馬大学医学部附属病院研修医症例発表会を実施いたしました。2020年度から昨年度まで、発表者以外の参加者にはZOOM配信で実施していましたが、今回4年ぶりに、会場でリアルの聴衆を前に発表する形式で開催することができました。

当日は10名の研修医が演者として登壇し、会場には多くの指導医の先生方にもご参加いただき大盛会となりました。ご参加くださいました先生方、誠にありがとうございます。研修医それぞれが、緊張の中でも質疑応答までしっかりと丁寧に対応する様子に、頼もしさを感じました。これも、日頃の皆様からの手厚いご指導の賜物と存じます。重ねて感謝申し上げます。

コロナの影響で、この数年間実施できなかった行事が多々ありましたが、少しずつ再開することができ、とてもうれしく感じています。医師のキャリアの中で、臨床研修はごく短い期間ではありますが、研修医の先生方にとってはたくさんの“初めて”が詰まった大切な2年間です。病院スタッフの皆様方のご支援の下、臨床研修センター一同、研修医の先生たちの大切な2年間をこれからもサポートしていきたくと考えております。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



優秀演題2題とベスト指導医賞、ベスト診療科賞を表彰させていただきました。

- 【医学部附属病院院長賞】 山村彩先生（前列右）
- 【医学部長賞】 太田裕美先生（前列左）
- 【ベスト指導医賞】 遠藤雪恵先生（後列中央右）
内山明彦先生（後列中央左）
- 【ベスト診療科賞】 呼吸器・アレルギー内科
（砂長則明先生：後列左）

スキルラボ部門

医学科オープンキャンパス開催

8月14日（月）～18日（金）、医学部医学科オープンキャンパスとして、スキルラボセンター・シミュレータ体験&研究室見学ツアーが実施されました。県内外から、昨年を上回る230人の中高生が参加しました。スキルラボセンターでは、診察（眼底鏡・腱反射・聴診の体験）や診断のための検査（鼻咽頭ぬぐい検査、超音波検査、気管支鏡・内視鏡検査）、治療のための手技（腹腔鏡下手術）、その他（3D解剖実習、感染予防実習、分娩介助、心肺蘇生法の講習）、基礎系研究室では、最新の研究設備の見学や公衆衛生学での講義、電子顕微鏡観察、実験動物の行動観察等が実施されました。グループごとにツアー形式で各所を巡る体験型イベントであり、中高生たちは目を輝かせながら、積極的に参加していました。また、今年度も医学科生がサポート役として、案内・誘導等を行ってくれました。体験・見学ツアー後の医学科生との懇談会では、大学生活に関する質問など、参加者から思い思いの質問が投げかけられました。中高生たちは、少し年上の医学科生の姿に触れ、自分の近未来が思い描けたようでした。アンケート結果は、9割以上が「大変満足」「満足」であり、嬉しいコメントも多数いただきました。お忙しい中、丁寧にご指導いただきました先生方、医学科生の皆さん、ご協力いただきました皆様に、この場をお借りし心より御礼申し上げます。

【令和5年度医学科オープンキャンパス・アンケート結果】

図1. 本日の医学科オープンキャンパスの満足度を5段階で評価してください

	回答数	割合
大変満足	125	77.6%
まあ満足	33	20.5%
普通	1	0.6%
やや不満	2	1.2%
不満	0	0%
計	161	100%

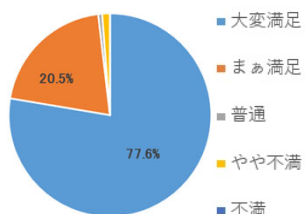
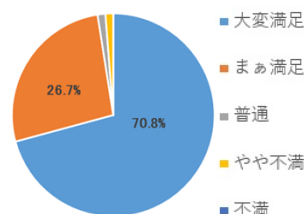


図2. 本日の医学科オープンキャンパスは、医学部受験のモチベーションアップに繋がりましたか？

	回答数	割合
大変満足	114	70.8%
まあ満足	43	26.7%
普通	2	1.2%
やや不満	2	1.2%
不満	0	0%
計	161	100%



フリーコメントより

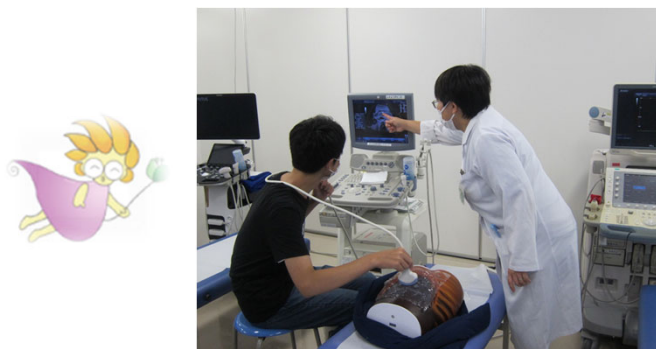
- ・超音波検査では、画面を見ながら臓器について詳しく教えてもらった。胎児の性別の見分け方も知り、とても楽しかったです。
- ・マウスの解剖や細菌の顕微鏡観察ができ、学ぶ物事のイメージがつかまりました。
- ・公衆衛生学の講義では、学習を深め、英語での講義を受けることができました。大変興味深かったです。



検眼鏡を使って、眼底の診察をしています



鼻咽頭ぬぐい液の採取にチャレンジしています



超音波検査の体験中です
腹部の臓器を上手に映しだしています



シミュレータやトレーニング用AEDを使って、
心肺蘇生の体験をしました



新規シミュレータの導入について

今年度、スキルラボセンターに異物除去トレーニングシミュレータの“チョーキングチャーリー”が4体導入されました。誤嚥窒息時の気道異物除去の手技である、ハイムリック法のトレーニングのために開発されたシミュレータであり、正しく手技を行うと異物が除去されることを効果的に体験することができます。学生実習やBLS講習、防災講習等、幅広くご活用ください。

* ご利用を希望される方は、スキルラボセンターホームページ
(<https://mec.dept.showa.gunma-u.ac.jp/slc/>) よりお申込みください。



群馬手術手技研修センターからのお知らせ

スキルラボと連携して運営している群馬手術手技研修センターでは、ご遺体を用いたサージカルトレーニングを定期的で開催しております。高難度あるいは新規手術手技や手術のトレーニング、新たな医療機器等の研究開発を行うことを通じて、医療の質と安全性の向上を図り、国民福祉への貢献を目指しております。引き続き、充実した研修が行えるよう努めていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。研修についてご不明な点がございましたらいつでもお問い合わせください。

群馬手術手技研修センターのホームページ (<https://cst-gunma.med.gunma-u.ac.jp/>) も開設しておりますので、ぜひそちらもご覧ください。

看護職キャリア支援部門

看護職キャリア支援部門では、看護職の研修企画・運営、地域看護職の研修支援や看護学生の臨地実習支援等を行い、看護職の実践能力向上を支援しています。今年度看護部では47名の新人看護職員を迎えました。コロナ禍での基礎教育課程を過ごした背景を踏まえ、技術的側面、精神的側面からサポートできるよう、プリセプターシップ制度の「部署全体で新人を育てる」「共に学びあう」の基本理念のもと新人教育に取り組んでいます。

また、近年医療の高度化が進み、看護職に求められている役割も多様化しており、思考力、問題解決能力、コミュニケーション力などがより求められます。そのような現状に対応するため「臨床倫理」「臨床推論&KIDUKI」「2年目看護師フォロー研修」「教育スキル向上研修」といった研修も導入しています。

今年度も引き続き、生涯にわたり研修を受け、成長・進歩し社会の要請に応えられるような看護職の育成を行ってまいりますのでよろしくお願いいたします。



令和5年度新入看護職員



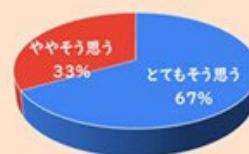
令和5年度臨床推論&KIDUKIより

地域医療支援部門（地域医療支援センター）

埼玉・群馬の地域と医療の役割について学ぶ

令和5年度の夏、埼玉・群馬の県境地域の医療情勢について学習する「利根川プログラム」を新規開講しました。埼玉医科大学生8名、群馬大学医学科生10名が履修し、両大学合同でオンライン学習や臨地実習に参加しました。県境地域の医療機関に協力いただき、地域や住民の視点に立ち、両県の県境地域で抱える医療的課題について学ぶ機会となりました。

利根川プログラムの参加を、知人や後輩に勧めたいと思いますか



●とてもそう思う ●ややそう思う ●どちらともいえない
●あまりそう思わない ●まったくそう思わない



ハイブリッド手術室見学（伊勢崎市民病院）



気管支鏡検査見学
（埼玉県立循環器・呼吸器病センター）

地域医療体験セミナーを開催し、地域医療マインドの育成に努めています

本年7月から8月にかけて、県内の高校生を対象に「医学部医学科をめざす高校生の職場体験セミナー2023夏」（県内11病院、2診療所）を、8月から9月にかけて群馬大学医学部医学科生を対象に「2023夏地域医療体験セミナーin群馬」（全7コース（県内7病院、2診療所））及び「2023夏数日型地域医療体験セミナーin群馬」（県内7病院、2診療所）を開催しました。

県外の高校に通う高校生からも応募があり、高校生は68名、医学部医学科生は合計43名が参加しました。いずれのセミナーも、施設内の見学や体験、地域で勤務する医師等との懇談を行いました。本セミナーを通じて、参加者の皆さんが地域医療の現状や課題を理解し、地域医療を志すきっかけとなりましたら幸いです。



血圧測定（高崎総合医療センター）



内視鏡室見学（原町赤十字病院）

看護師の特定行為研修部門

看護師の特定行為研修センターは、昨年度に引き続き当院に勤務している看護師に対して特定行為研修を行っております。令和5年度は外科術後病棟管理領域パッケージで1名、ICU関連セット研修で2名、動脈血液ガス分析関連で2名、栄養に係るカテーテル管理関連で1名の受講生が研修を行っています。手術室やICUでは研修を修了した特定看護師が臨床の現場でその手腕をふるって活躍しています。受講にあたっては受講料などの免除規定や、看護部にご協力いただいて週1日程度の研修日を設けてもらう等のサポートもありますので、少しでも興味がある方は一度ご連絡いただければと思います。

特定行為研修とは

○研修を実施する機関

特定行為研修は厚生労働大臣が指定する研修機関で行います。

○研修の内容

研修は、すべてに共通して学ぶ「共通科目」と、特定行為区分ごとに学ぶ「区分別科目」に分かれています。研修は、指定研修機関での講義・演習・実習によって行われ、一部の指定研修機関では講義と演習に「eラーニング」を導入しています。

○修了証の交付

特定行為研修修了後には、指定研修機関より修了証が交付されます。指定研修機関は、研修修了者の名簿を厚生労働省に報告します。

特定行為の実施の流れ

▶ 受講前・後でこのように変わります（脱水を繰り返すAさんの例）

